

雪国にも春が来た！

雪国に春を告げる木の花と言えば、やはり、マンサクの花です。秋山郷暮らし十九年目の私も、今では、梅の花ではなく、マンサクの花を見て、雪国にも春が来た喜びを感じます。

今年、三月に入ってから、たびたび大雪が降りましたので、マンサクの花が咲き始めたのは、四月に入ってからのことでした。花の赤い中心部から、黄色くて細長い四枚の花びらが、巻かれたりボンがほどけていくような感じで開いていきます。二メートル以上もある残雪の中での春の訪れです。「春が来た！という喜びは、雪国で暮らした者にしかわからない」と言う言葉が、今は本当に、よく理解できます。

さて、このマンサクには、「シシハライ」という別の名があります。また、秋山郷では、カモシカのことを「シシ」、あるいは、「クラシシ」と呼びます。では、